

総合教育センターだより



第38回

秋田県教育研究発表会

発表者を
募集しています！

秋田県総合教育センターでは、本県教育の振興を目指し、県内の幼稚園・保育所・認定こども園等、各学校、教育機関等における教育研究成果の普及・交流を図るために、「第38回秋田県教育研究発表会」の開催を予定しています。



発表会コンセプト

～郷土あきたの教育への提案～

〈期日〉 令和6年2月1日(木)

〈会場〉 秋田県総合教育センター

開催に当たり、次のとおり発表者を募集していますので、奮ってご応募ください。

●研究分野

- (1) 学校運営 (2) 教科等指導(道徳、総合的な学習の時間、総合的な探究の時間、特別活動を含む)
 (3) 生徒指導 (4) 情報教育 (5) 特別支援教育
 (6) 就学前教育 (7) ふるさと教育、キャリア教育 (8) その他教育に関すること(環境教育等)

●発表者

次のいずれかに該当する県内の幼稚園・保育所・認定こども園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員及び教育委員会・教育機関の職員を発表者とする研究発表を募集します。

- (1) 秋田県教育委員会から研究発表の要請を受け、所属長の承諾を得た方
 (2) 研究委嘱や指定、各地区の研究会等での発表者で、会長及び所属長の承諾を得た方
 (3) 秋田大学等における大学院派遣研修生及び修了した方で、発表を希望し所属長の承諾を得た方
 (4) 日本教育公務員弘済会等の研究論文募集に応募し入選された方で、発表を希望し所属長の承諾を得た方
 (5) 上記(1)から(4)以外で発表を希望し、所属長の推薦を得た方

●発表形式

口頭発表による研究発表を募集します。教育現場での汎用性がある研究発表を基本とし、発表のまとめが「提案を基調とする内容」となるようにお願いします。

※ポスターセッション形式の発表については実施しません。

●発表の申込み

発表を希望される方は、所属長の承諾・推薦を得て、所定の様式により電子メールで申し込んでください。申込書は、当センターウェブサイトからダウンロードしてください。

◆ 申込期間 令和5年9月1日(金)～10月31日(火)

◆ 申込み・問合せ先 秋田県総合教育センター

教科・研究班 小松田 哲也・部谷 靖子

TEL:018-873-7203 E-mail:subject-research@e-akita.ed.jp

教育研究発表会参加申込みの受付は、12月上旬からです

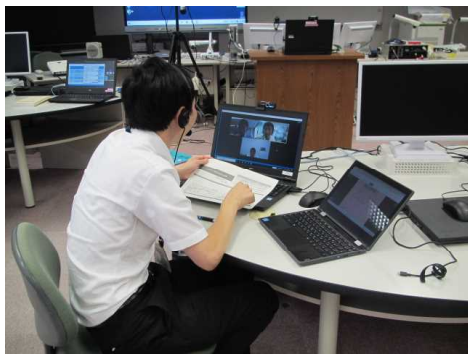
参加の申込方法等を記した「第二次案内」を、12月上旬に当センターウェブサイトに掲載し、参加の申込みを受け付けますので、今しばらくお待ちください。なお、上記発表の他、「センター研究発表」「講演」など、参加者が様々な教育実践や教育研究に触れることができる内容となっています。多数の参加をお待ちしております。

★詳しくは、当センターウェブサイトのトップページ (<https://www.akita-c.ed.jp/>) にある「秋田県教育研究発表会」→「第38回教育研究発表会第一次案内」を御覧ください。

■ センター研修講座の紹介

～教科指導におけるICTの効果的な活用を目指して～

教科指導に関する講座では、授業で実際に活用できる学習活動例を紹介したり、参加された先生同士が実践例を基に情報交換したりしました。授業構想や教材づくりの演習を通して、実践的な指導力を高める機会となりました。



C-8 生徒が主体的・対話的に学ぶ中学校数学科の授業づくり

(7月7日実施)

センターに集合した受講者とオンライン型の受講者が、授業支援アプリケーションを活用して模擬授業の授業構想を紹介し合うなど、双方向で数学の授業づくりに関する意見交換を行いました。

〈受講者の振り返り票から〉

- ・他の先生方のオンライン学習のアイデアを受けて、自分では思い付かないような内容をたくさん知ることができ、授業にも生かせると感じた。
- ・ロイロノートを実際に操作しながら、オンラインでの学習(授業)について考えることができた。ユニバーサルデザインの観点からも、視覚的に理解できるような形で授業を考えたいと思った。



C-5 生徒が主体的・対話的に学ぶ中学校社会科の授業づくり

(8月3日実施)

生徒が資質・能力を身に付けるための、ICTの効果的な活用場面を受講者が考え、社会科の授業を構想しました。また、その授業で活用する教材を、タブレット端末を用いて作成しました。

〈受講者の振り返り票から〉

- ・ロイロノートを初めて使用して資料・教材を作成したが、直感的な操作で作成することができ、効率的なツールだと感じた。
- ・「ICTを活用するために」ではなく、「〇〇するためにICTを活用する」という視点をもらった。ねらいを達成できるよう身に付けたい力を明確にし、どこで活用するのが効果的なのか、指導計画を立てる時間を生み出していきたいと思う。

■ 「星の観察教室」へのご来場 ありがとうございます

8月4日(金)、4年ぶりに「星の観察教室」を開催しました。

今年は、190名以上の方々にお越しいただきました。受付開始後すぐに定員に達したプラネタリウム学習会を始め、望遠鏡での星空観察、立体シアター、天体シミュレーション、星座早見盤の製作と使い方、星の工作に参加者は目を輝かせていました。

開始直後は曇天のために望遠鏡での星空観察はできず、「秋田星っこの会」による動画を見たり、スライドを用いた星の解説を聞いたりしました。徐々に雲が晴れ、天体観測室や駐車場に設置した望遠鏡で、夏の大三角やさそり座、土星などを観察することができました。

今回製作した星座早見盤を用いて、他の季節の星空も観察してみることで、宇宙への関心を更に深めてくれるとうれしいです。



厚紙を切り取って星座早見盤を製作しています。シール等で飾り付けしました。



大人気の「星の工作」です。今回はウインドチャームを作りました。

来場者アンケートより

- ・星の観察だけだと思っていたらいろいろな催しがあり、とてもよかった。
- ・子どもも大人も楽しめてうれしいです。
- ・素敵な機会をありがとうございました！楽しかったです。また参加したいです！
- ・もっと早い時間に来てゆっくり回ればよかったと思いました。
- ・いろいろな経験ができて、楽しかったです。また来たいです。
- ・次は大型望遠鏡でも星を見てみたいです。
- ・初参加でしたので車を停める場所が不安でしたが、丁寧な案内で助かりました。

〈お知らせ〉 令和6年1月5日に「プラネタリウム教室」を開催する予定です。詳細は、次号の「総合教育センターだより」でお知らせします。

